



秘語
内傳

閑下の及退の國元義

蘇六假略却見

去及近中陸事

久保大執方とこり

閑下ノ良しとこり

そ一ちとこり又何如

昔スレ流る唯田家

いお力と痛甚歎大良

スレお早とこり

物閑下美一の退

りといはれり心算白

閑下之命よりの中

行はる事と里七持

足会追加能流集

之為ハ面五接心

幸止民父トし付中

子あり共若りハ秘あり

秘あり共若りハ秘あり

幸さし民久し付中

と申す其若り六秘事な

此れも色し其何事

松方伯、仰付た是

と申下ら付一筆

是非其四下之仰時

代にあらて真上ら

一筆其子義少所

下は是又竹万世之

二民系之其り、こ

仰返下ち本あら七三子

事新らし申候仰と

甚は知國中仰馬

又トヒ候下之仰主

張ハナリトモ是の

下分松方伯、仰候し

方候上ら也

本、お我富哉大石

徳母、下、付申中

上ら、ら、し、分、也、し

中、上、ら、先、也、申

お、付、は、ら、申、也、申

りし是又竹万世之
二民系之其りていこ
叩返下ち本ありてもろ子
事新らし幸候候と
甚に知國中あり
又トヒ候下之仰主
張ハナリトモ正の
下分松万伯一仰候し
方解上なる也

本一お我富長大石
無母ノ下付中中
上ららしは分もがし
余又幸と近とある
りり下其其節を接
中上なら先も
お付はあじな如
けくやいし

隆之
二月三
日

伯大隈総裁閣下
内陳

麻時博學金鑑裁
大隈伯爵到
至急必親展

固

九鬼副總裁固